

# 化粧品技術者のオリンピックと呼ばれる IFSCC 2018 CONGRESS で発表 たるみの原因、重力による皮膚表層の細胞面積拡大を発見

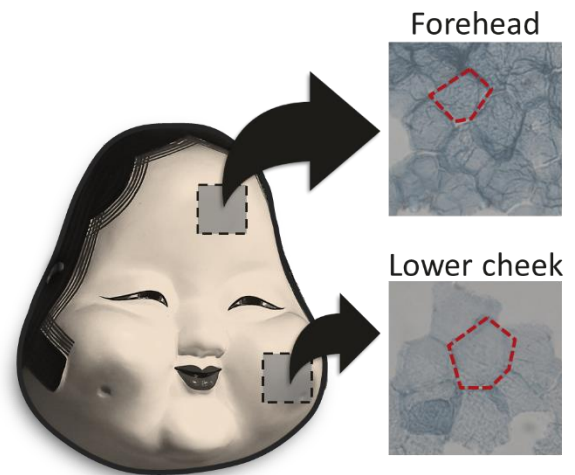
## 肌のコルセット成分 クミスクチンを特許出願

株式会社ナリス化粧品（代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区）は、9月18日～21日、ドイツ・ミュンヘンで開催された IFSCC 2018 CONGRESS にて、たるみの原因として、重力による皮膚表層の細胞拡大の関与を発見したことを発表しました。合わせて、重力で皮膚の細胞（表皮細胞）の面積が大きくなることを抑制する成分として、クミスクチン（シソ科の多年草、別名：ネコヒゲ）を発見したことも発表しました。IFSCC CONGRESS は、2年に1度開催される化粧品技術者のオリンピックとも呼ばれ、世界47ヶ国が参加して、最新研究結果を発表する最も権威ある化粧品国際学会で、ナリス化粧品は、近年、3回連続参加しています。

### ■たるみが発生する理由、皮膚表層にあることを発見。

肌のたるみは、特に高齢層の女性の悩みとして一般的ですが、今までの研究では、たるみの発生理由は、皮下脂肪や、真皮の衰えなど、皮膚の奥深くに原因があるとされて来ました。しかし、物体の形状変化は物体表面の形状変化なくしては生じません。今回の研究で、深刻なたるみのある部位ほど、皮膚の表面で角層細胞が大きくなっていることがわかりました。

また、若い細胞では、重力のかけ具合に応じて細胞を拡大・収縮する力がありますが、年をとった細胞では重力に反応する力が減少することもわかりました。



たるみのある部位の細胞と、  
たるみのない部位の細胞の表面積の違い

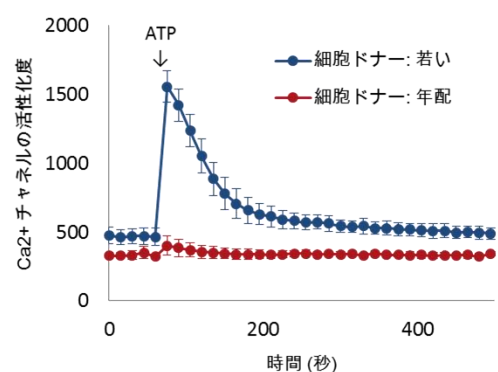
### ■重力による細胞拡大を抑制する成分、クミスクチンを特許出願。



クミスクチン

今回、シソ科の多年草である「クミスクチン」に、重力による細胞拡大を抑制する効果があることを発見しました。化粧品の効果が届きやすい皮膚表層にこの成分を届けることは、いわば、肌のコルセットの役割を果たすことができます。

尚、この技術は特許出願済みで、今後、スキンケア用品への搭載を予定しています。



重力がかかったことを感知する能力の違い

### ■発表内容

**タイトル：(和文)重力による表皮細胞の拡大がもたらす皮膚のたるみ**

英文名：Skin Sagging Caused by Gravitational Stress-Induced Expansion of Epidermal Keratinocytes

発表者：株式会社 ナリス化粧品 森田美穂・森田哲史・松ヶ下かおり

本件に関するメディアからのお問い合わせ先  
 株式会社 ナリス化粧品 営業戦略室 広報課 担当：横谷 泰美  
 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目11番17号 TEL:06-6346-6672 FAX:06-6346-6569  
 E-mail:[narispr@naris.co.jp](mailto:narispr@naris.co.jp) HP:<http://www.naris.co.jp/>

## 発表者プロフィール

### 森田美穂（もりた みほ）

株式会社ナリス化粧品

研究開発部 研究課 基盤技術グループ

#### — 略歴 —

東京工業大学大学院生命理工学研究科を修了後、株式会社ナリス化粧品に入社。研究開発一筋18年目。研究業務では、主に皮膚の老化改善研究に従事し、製品への技術搭載はもちろん、学会や論文など社外への情報発信にも精力的に取り組んでいる。

プライベートでは一児（3歳）の母。趣味は見仏で、広隆寺の半跏思惟像が好き。

#### — 職務経歴 —

■2001年：入社・研究開発部配属。現在まで主にスキンケア技術の開発

を担当。対象は、化粧品・美容機器・ハミガキ etc.

■2014年：リーダー職。

■2016年：特許登録10件、出願25件で発明奨励表彰。

■2017年：特許出願40件で発明奨励表彰。

日本美容皮膚科学会学術大会にて優秀演題賞受賞。



会場で説明する森田美穂研究員（写真中央）